

教育的価値	具 体 の 項 目	教育課程
2【かかわる】	⑨【仲間や地域の人々とのつながり】 ⑩【ボランティア】 ⑫【自分と地域社会】 ⑬【地域づくり】	総合的な学習の時間

【題 材】 「新生軽米中学校と地域との絆」を深める活動ーおかげさま活動ー

【日 時】 平成 26 年 9 月 17 日 (水) 【対 象】 3 学年 88 名

【実践の概要・詳細】

軽米中学校に代々受け継がれてきた『おかげさま活動』、自分たちを育ててくれた郷土、軽米への感謝の想いを行動で示すボランティアに取り組んでいます。自分たちで、内容を企画し、準備・実行しています。今年は、統合一年目、学区も広がり、まさに軽米町全域の活動に広がりました。9つのグループに分かれて、高齢者福祉施設、幼稚園・保育園、独居老人宅等を訪問し、交流や地域の清掃活動を行い、ボランティア活動に取り組みました。温かい人のつながりのある社会・地域づくりという視点で自分たちにできるボランティア活動に精一杯取り組みました。

【授業の展開】

① 事前の日程

7月：グループ分け

活動内容の検討

8月：計画・準備

9月：準備・実践

10月：まとめ・発表(文化祭)

② 当日の流れ

集 合 8：00～8：30

活 動 8：30～12：00

片づけ 12：00～13：30

学校到着 13：00

	活動場所	活 動 内 容
福 社 施 設	花の里かるまい	ソーランの披露
	いちい荘	手伝い
	太陽荘	ソーラン・校歌披露、手伝い
	せせらぎ	沢田神楽の披露、清掃等
幼 保 小	軽米小学校	手伝い、清掃等
	軽米幼稚園・保育園	読み聞かせ、紙芝居、遊び(クイズ)
町 施 設	旧円子小学校	旧円子小学校及び付近の清掃等
	旧笹渡小中学校	世代間交流(綱緋い、水鉄砲、写真作り)
	観音林支所	ソーラン・合唱・太鼓披露・交流会
その他	お年寄り宅訪問	清掃等、依頼されたことを実行

【生徒の感想】



○花の里かるまい〈介護保健施設〉(門前地区生徒)

・車いすの掃除をしているときに、しゃべることもままならないおばあちゃんが、一生懸命口を動かして、「ありがとう。」と言ってくれた。声は、小さくて聞き取りにくかったけど、その一言がうれしくて少しのことでも役に立てて良かったと思った。



○いちい荘〈福祉施設〉(上新町地区生徒)

・今回の体験を通して、お年寄りの方々とお話をしたり、車いすでの移動を手伝ったりしたときに、相手の耳元で、話したり、笑顔を心がけたりした。コミュニケーション能力を磨くことができた。



### ○太陽荘〈福祉施設〉(山内地区生徒)

- ・何事も全力でやれば、見ている人に喜んでもらえるということを学んだ。
- また、笑顔で接すれば、相手も笑顔になってくれるということが分かった。
- ・コミュニケーションをとることの大切さを改めて知ることができた。



### ○せせらぎ〈介護支援施設〉(小軽米地区生徒)

- ・普段することのできないお年寄りの方との交流を経て、声の大きさ・話す距離、顔の表情など気をつけなければならないことがたくさんあることが分かった。ゴミ拾いでは、地域をきれいにするすることで、自分の気持ちもすっきりし、地域にすこしでも貢献できたかなと思った。



### ○軽米小学校(本町地区生徒)

- ・児童にお礼の言葉をもらったとき、自分たちの活動をやってきたかいがあったと思って、自信がついた。
- ・「おはようございます。お疲れさまです。」と挨拶してくれて嬉しかった。



### ○軽米保育園(向川原地区生徒)

- ・5、6歳の子との触れあい方が自然に身についたので良かった。
- ・紙芝居、クイズ大会では、みんな釘づけになって見てくれました。最後に、園児の笑顔、先生方の笑顔を見ることができて良かったです。



### ○旧円子小学校(円子地区生徒)

- ・一回、用具室の物を全部取り出して、掃除した後にまた戻すのが大変でした。よく使用する物は手前で、なかなか使用しないものは奥に置くなど、自分たちで配置も考えました



### ○旧笹渡小中学校(笹渡地区生徒)

- ・地域との交流の場面が少ないということに気付いたので、地域との関係を大切にしていきたいと思います。元気な、明るい挨拶を心がけたい。



### ○観音林支所(観音林地区生徒)

- ・この活動を通して僕は自信がついたことがある。それは、人を笑顔にしたり楽しませたりすることができたということ。この活動で、高齢者の方に笑ってもらったり、喜んでもらったりしたことが嬉しかった。



### ○お年寄り宅訪問(高家地区生徒)

- ・自分たちの明るい姿を見せることでこんなにも元気を与えることができるんだと思った。地域の活性化に大きく関わる存在として、明るく気持ちのこもった挨拶をするなど、小さな事から交流を深めていきたいと思った。

【まとめ】「震災復興」の一環として、『おかげさま活動』に取り組みました。自分たちを育ててくれた郷土への感謝の想いを示すボランティア活動を通して、生徒は、仲間との関係づくりや身近な郷土を支える自分たちの役割の大切さを実感し大きく成長していることが分かります。この『おかげさま活動』を通して、自分のあり方を振り返り軽米町や高齢化社会について深く考えることができました。